

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

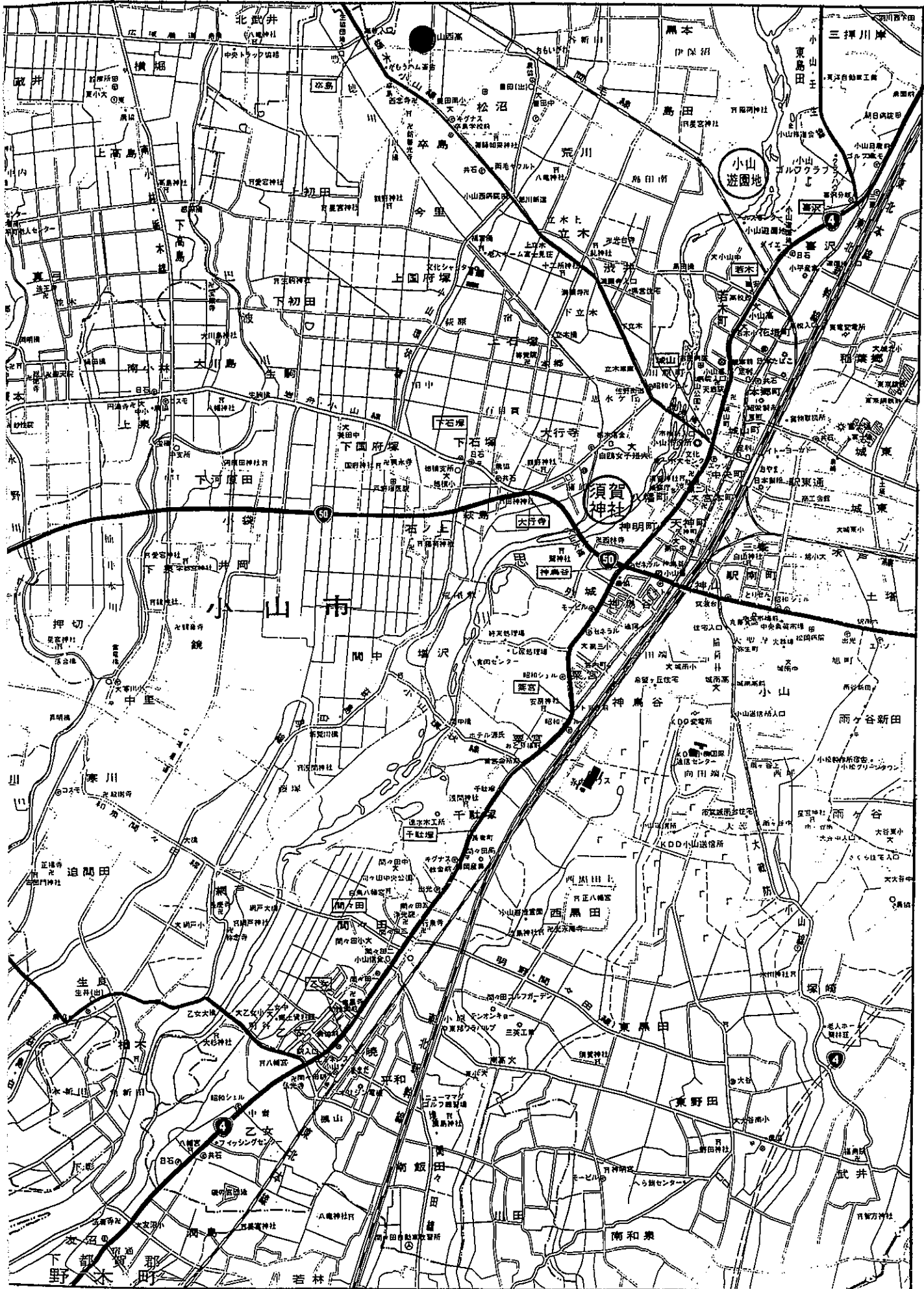
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

# 案内図

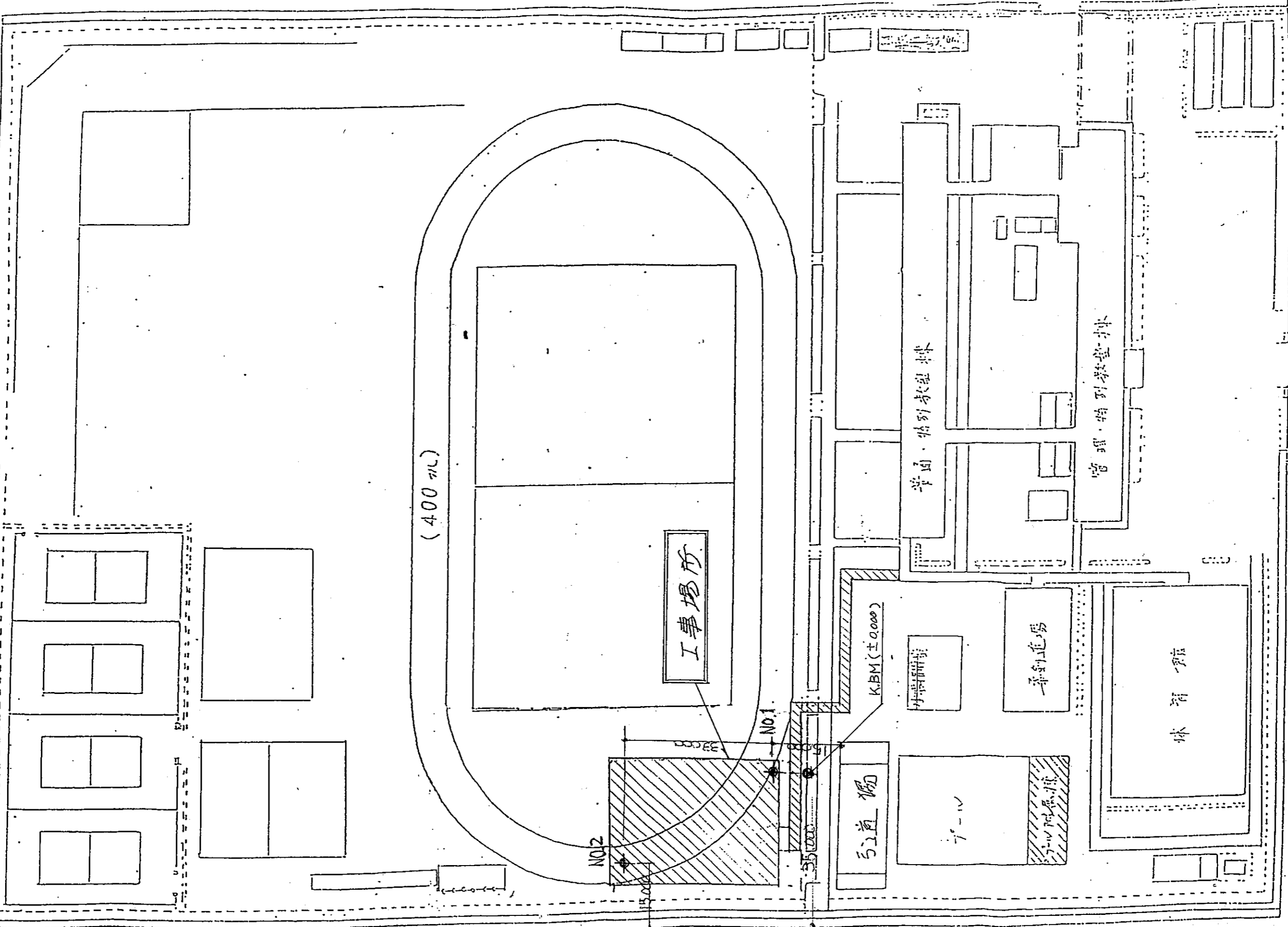
# 建築-6

●.....調査地点



栃木県立小山西高等学校第二体育館新築工事配置図

S = 1/1000



栃木県立小山西高等学校  
第二体育館新築工事に伴う地質調査

調査地点 標高

調査年月日 昭和33年12月9日～12月11日

ボーリング孔: 6

孔内水位 GL-2.00

調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	現場土質名	観察色調	記録	標準貫入試験			値	試料採取 深さ m	試料採取 試料番号
								打撃回数 貫入量 cm	10 cm 打撃回数	30 cm 打撃回数			
1		1.20	1.20	埋	土 黄茶 灰		2~30%程度の角状主体。粘性帯がある。	3	1	1	12		
2		2.30	1.10	表	土 黒 褐		(田)耕土。シルト系の粘性土。粘性帯がある。	2	1	1	22		
3		3.40	1.10	粘土質シルト	暗 灰		腐植物質、有機物混入。上部腐食性帯がある。	2	1	1			
4		3.80	0.40	シルト混細砂	暗 灰		下部含水量多い。シルト散粒。シルト、砂系の混合土。	17	5	5	7		
5		4.60	0.80	細砂	暗 緑 灰		2~20%程度の角状炭灰。粗中粒砂多量混入。	30	7	7	7		
6		5.40					最大粒径φ100%前後。2~70%の角状砂多量混入。粗細粒の粘性帯がある。	29	10	10	9		
7		6.20					少量の粘性帯がある。腐植物混入。	21	5	6	10		
8		8.10	3.50	砂	暗 灰		若干シルト性帯がある。	7	3	2	21		
9		9.60	1.50	粘土	褐 灰		石炭混入。	30	2	2	8		
10		11.10					シルト不規則に挟有。	31	10	10	11		
11		11.90	2.30	細砂	暗 灰		腐植物質、有機物混入。上部護層に砂分。挟有。	23	8	7	8		
12		13.90	2.00	シルト	上 暗 灰		局部的に粘性強い。腐植物質、浮石混入。粘土、砂系の互層状。混合土。	5	2	1	7		
13		15.26	1.36	粘土質細砂	黄 褐		最大粒径φ100%前後。2~50%程度の角状砂多量混入。粘土、砂系の互層状。混合土。	14	6	3	4		
14		16.26						45	15	15	15		
15		16.45						30	9	14	14		
16		16.45						37	9	14	14		
17		17.15						30	14	9	9		
18		17.45						32	14	9	9		
19		18.15						30	18	32	7		
20		18.45						50	15	18	17		
21		19.22						17	15	16	19		
22		20.15						30	15	16	19		
23		20.45						50	34	16	5		
24		21.15						15	5	15	21		
25		22.30						41	5	14	9		
26		23.15						30	14	16	23		
27		23.45						50	14	13	23		
28		24.15						29	14	13	23		
29		24.44						50	14	13	23		
30		25.15						30	14	13	23		

備考:

試料採取方法の記号

● デニソン型サンプラー

⊕ フォイルサンプラー

● シンウォールサンプラー

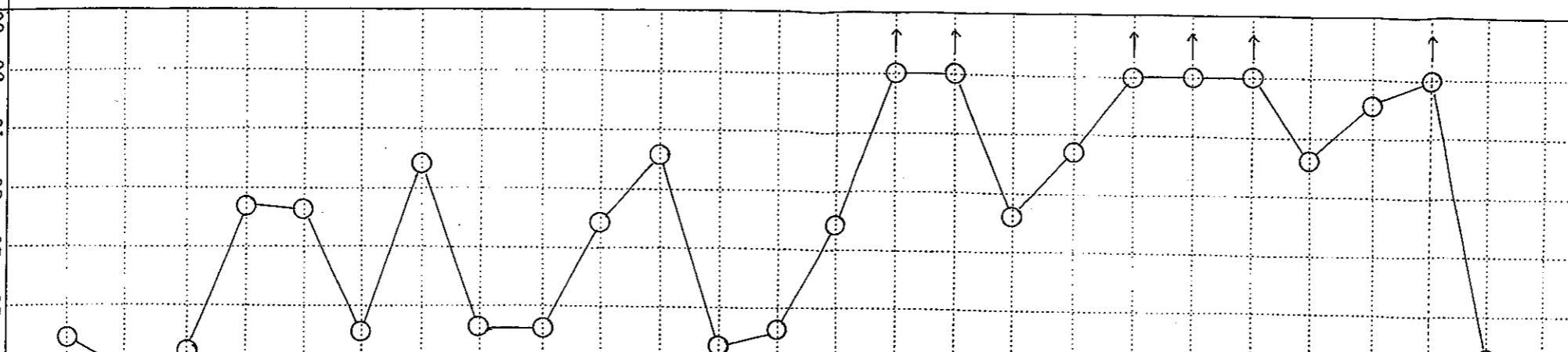
○ 貫入試験用サンプラー

× その他

工 賃 柱 状 図 報 告 用 紙

栃木県立小山西高等学校 第二体育館新築工事に伴う地質調査標高 調査年月日 3年12月11日～ 年12月14日 調査担当 者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場		観察色調	記 事	標準			貫入試験値	試料採取	
				土質記号	土質名			打撃回数	10cmごとの打撃回数	N			
1	1.25	1.25	1.25	埋	土	黄茶灰	上部0.20m D-ム混り砂、以深部砕石主体	2	1	2	14	2	2
2	1.80	0.55	0.55	表	土	黒	旧粘土、シロ系の粘性土、腐食性帯あり	0	0	0	45	0	0
3	3.25	1.45	1.45	粘土質シルト	シルト	暗黒灰	腐食性強い、暗灰の有様、シルト状に投有、腐植物多量	3	1	3	13	3	3
4	3.50	0.25	0.25	シルト	細砂	暗	下部砂分多量	28	10	10	8	8	8
5	4.80	4.80	4.80			暗	石炭層の混入、砂系	27	10	10	8	9	9
6							最大粒径φ100mm前後、φ20~70mm程度の角多量混入。マトリックスは粗中粒砂主体、少量の粘性帯あり、非常に含水多量	6	1	2	14	3	3
7	7.80	7.80	7.80	砂	砂	暗緑灰	腐植物、有機物混入、若干シルト性帯あり、酸化状態呈示(色調変色)	34	12	12	10	10	10
8							上層含水多量、若干シルト性帯あり、10.50m付近に砂多量混入	7	1	2	13	4	4
9	9.60	9.60	1.80	粘	土	褐		7	2	2	13	3	3
10								24	7	8	9	9	9
11								30	11	11	14	14	14
12	11.90	11.90	2.30	細	砂	暗	腐植物混入、上部砂分不規則に投有、局部的に粘性強い	4	1	1	2	2	2
13								30	12	8	13	2	2
14	13.60	13.60	1.70	シルト	土	暗青灰	浮石散在、新層状呈示	7	7	8	9	9	9
15	14.10	14.10	0.50	粘	土	暗黄	雲母、鉄分混入、軟凝固状呈示	24	27	27	9	9	9
16	14.80	14.80	0.70	粘土質微砂				50	23	24	7	7	7
17							最大粒径φ100mm前後、φ20~50mm程度の円、歪角付多量混入、浮石、鉄分混入、局部的に褐灰色を呈し、粘性強い、マトリックスは、粘土混り細砂主体	19	26	26	7	7	7
18								60	26	24	7	7	7
19								17	9	8	10	10	10
20								38	16	12	10	10	10
21								30	17	26	7	7	7
22								23	25	25	14	14	14
23								20	19	17	7	7	7
24								50	12	9	16	16	16
25	24.70	24.70	9.90	砂	砂	暗黄灰	腐植物、有機物混入、若干砂分混入	37	16	15	16	16	16
26	25.45	25.45	0.76	腐食性シルト	腐	褐	φ10~25.35~25.45mm 腐食性土の粘土混り、細砂投有	46	16	17	9	9	9
27								30	16	17	7	7	7
28								13	3	3	7	7	7
29								30	3	3	7	7	7
30													



備考：  
 ● デニソン型サンプラー  
 ⊕ シンウォールサンプラー  
 ⊗ フォイルサンプラー  
 × その他